

あかるいまち 21

No.1493 2022年3月 26日
組合員活動推進課 082-532-1264

	3月	2021年度
組合員ふやし	143人	1430人
出資金ふやし	964万円	15303万円
純増	34万円	593万円

西区と懇談を行い、共催企画が内定!

3月23日に広島市西区厚生部地域支えあい課との懇談を行いました。組活からは健康づくりと子育て支援に関する活動を報告しました。支えあい課からは新型コロナに関わる情勢を踏まえ、西区が行う健康づくりに関する取り組みや小さな子を持つ親の居場所づくりの活動の報告をしていただきました。地域の健康寿命を延ばすことや、子育てをする親を孤立させない取り組みなど、それぞれが取り組んでいる問題に協力して取り組んでいくことが確認されました。また、3月15日に共催で開催した健康づくり講座が好評だったことを受け、来年度も共催企画を行なおうとご提案を頂きました。行政とも協力して、今後も健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでいきます。



「広島県の金権政治を考える！ ～河井事件の辞職ドミノと参院選～」

3月25日(金)、中国新聞元論説委員の難波健治さんを講師に、広島県の金権政治について学習しました。35名の参加でした。

冒頭、社保委員長の藤本理事より、ロシアのウクライナ侵略戦争についての当生協が声明文を出したこと、また、当生協の職員組合員がのべ103名で戦争反対、憲法9条を守ろうとスタンディングアピールをしたことを紹介、難波さんもこの問題に触れ、また、新聞記者の仕事を通じて感じている広島に昔から根付く金権政治の問題、また、新潟や京都にもみられるように、自民党の金権政治は全国にはびこっている状況の説明がありました。

参加者からは「私たちももっと一人ひとりが勉強して候補者のことを知る必要がある」「新聞や雑誌、ニュース等ではいろんな情報が入ってくるが、自分の頭で考えることが大切」「本当の選挙活動とはどんなことを考えた」などの感想が出ていました。

